

放課後等デイサービス事業所における自己評価表(事業者用)

公表日:R8.1.20

所属している事業所に○をつけてください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	6			2階と3階に児童を分けるなどしてスペースの確保が出来ている
	2	職員の配置数は適切であるか。	1	5		あと一人いると助かる場面がある。 基本的に問題ないが、朝から利用する児童がいる場合などは少し問題が生じる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか。	2	2	2	階段がどうしてもあるため。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			朝礼や終礼などで改善案などを伝えることが出来ている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	6			Googleフォームを使うことで保護者にけが琉に意見をもらえるようにしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等公開しているか。	3	3		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			定期的に様々な研修を行っている。 Zoomで行うことで参加しやすい環境を作っている。
	9	アセスメントを行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			子どもと保護者から話を聞くことでより良い計画を作成している。
	10	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	5	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		立案は一人で行っているが、ミーティングの際に情報共有を行い、意見を出し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			児童の人数やレベルに応じて内容を変更することが出来ている。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援を行っているか。	4	1	1	細やかに設定する意識は持ていなかった。
	14	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			子供の体調やメンタルに合わせて活動を分けている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	6			朝礼後にミーティングの時間を設けることで、1日の流れや内容を全体で把握している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	6			送迎の兼ね合いなどで、翌日の朝に振り返りを行っていることがある。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			子どもの出来たことや小さな変化に気付けるようにしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画のモニタリングの見直しの必要性を判断しているか。	6			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5	1		
関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか。	5	1		参加する場合は事前に打ち合わせを事業所内で行い、色々なスタッフが参加できるように工夫している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換・子供の下校時間等の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	6			
	22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、子供の主治医等と連絡体制を整えているか。	4	2		カルテに記入している
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		

関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。	3	3		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	1	4	1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか。	2	2	2	他のカラースの児童と定期的に合同練習をしている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	3	1	
	28	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子供の発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6			送迎時にいつもと違うことなどを共有する。また、家での様子を聞くことで、対応方法などを協力して考えることが出来ている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	1	5		
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	1	3	2	
	33	子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速にかつ適切に対応しているか。	6			
	34	定期的に会報等を発刊し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか。	5		1	HUGを通じて活動世小汀を通知している。

	35	個人情報に十分注意しているか。	6			
	36	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか。	6			言葉だけでなく、絵やイラストなどを使ってコミュニケーションを図っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営をはかっているか。	2	2	2	
非常時等の対応	38	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	5	1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っているか。	5	1		避難経路や実践を通しての確認は年1.2回行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			定期的に研修が行われている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			子どものアレルギー情報を共有し活動の妨げにならないようしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有しているか。	6			ノートを作成し、朝礼時に確認を行っている。